

手をつなぐとも

等友

S 6 0 ・ 1 0 ・ 1 生



〒111-0041
 台東区元浅草
 2-10-17
 03-3841-2844
 浄土真宗
 勝龍山
 等覚寺
 住職
 朝倉 馨

平成20年3月
90号

か さ か さ に
 乾 い た 私 の 心 に
 み 仏 か ら 頂 い た
 美 キ ラ キ ラ 光 る 種
 し く 和 や か
 心 の 旅 を 咲 か せ う
 な お あ み だ が つ
 と 合 掌 し て ！
 と ち ち ち

“どうぞ
一緒に”

おあみだぶつ！

朝に合掌 夕に感謝

平成20年度年回表

一	周忌	平成十九年亡
三	回忌	平成十八年亡
七	回忌	平成十四年亡
十三	回忌	平成八年亡
十七	回忌	平成四年亡
二十三	回忌	昭和六十一年亡
二十五	回忌	昭和五十九年亡
二十七	回忌	昭和五十七年亡
三十三	回忌	昭和五十一年亡
三十七	回忌	昭和四十七年亡
五十七	回忌	昭和三十四年亡
七十七	回忌	昭和十四年亡
百回	忌	明治四十二年亡
百五十回	忌	安政六年亡
二百回	忌	文化六年亡

ご恩を忘れず毎日お参りいたします

私に生きているいのちを下さず
 仏国工
 から見守るご先祖様、私は皆と手
 をつなぎやせしく生き抜きます

等覚寺の年中行事

○一月廿三日 曜十一時
 新年親会法要

○三月中旬(日)十一時
 彼岸会永代経法要

○六月等夜旅行 一日 曜朝8時出発
 翌日5時帰着

○七月十三日
 盆会法要執行二時

○十月中三日 曜十一時
 宗祖親鸞上人への報恩
 講・私達にお浄土の救いの
 を教えます下さったご恩の

◎どうぞご予定レマご参詣を。

春

三月 彼岸永代會
中日會
四月十一時

今迄四月にお勤めして
永代經會を今年より三月にお勤め
致したいと存じます。
よろしくご協力を。

尚ご本算様の右側に安置して
る大きな過去帳には七くられた
日の欄に自分の中々将来も
お勤め出来たい時の事を思い
別懸志を志解された方の希望
仏様の去名を記入した方の命日
は過去帳の日持に読経申し上げ
おります。

ご法要のあと和やかに
合掌焼香・清らかな心
語にご恩を思い、会食致し
う。

等友への
ご懸心志

○金二万田也

西田隆丸様
築瀬久男様

山口明子様

○金一万田也

高木勇様

○金八千田也

杉山一夫様

○金五千田也

依京志津子様

○金千田也

打井正秋様

○金千田也

東原延代様
水村智恵子様

若しお名前が
したら次号に
お電話下さい



ご法事のお電話

- 一、お電話を頂いた時、全じご名字が数軒あり間違つてはいけませんのでフルネームでお願ひします。
- 一、〇月〇日何時に何人で、と。
- 一、お仏前の花は花屋さんにお願ひ。
- 一、お供え物は故人が好きな物をお供え下さい。
- 一、お電話は他家と重なり勝つてお早やめに。
- 一、施主は皆様より一足早目に寺に参り、お供物お布施はすぐご連絡を、葬後に済ませます。尚布施はフルネームをご記入を。
- 一、大勢様の時はお揃ひになりまして、お知らせ下さい。

お仏壇

お仏壇には、私達の救い主である阿彌陀様を正面にご先祖様の法名を期日毎に記入した、これかもしも記入する過去帳をご安置します。

本尊様は、この至らぬ自我一辺倒の、度しがたい私に、なむあみだぶつらの六字の名号を与えて下さり、仏国土、お浄土にお救い下さる阿彌陀様と、私をなんとか人間らしくと心をくだかれ、たご先祖様の、ご法名を記した過去帳をお飾りし、お花お仏銀をお供えし、お線香をたいまつ心身を清め、合掌礼拝致します。

日々の出来事を伝えるのも心の交流になります。

なむあみだぶつは二の次にして、なむあみだぶつと合掌を。

新年会

一月二十日（日）十一時

新年会を催しました。（恒例）
皆様が元気に微笑をたゝえ、賑

やかに続々ご参集。

ご法要の折、いつもの様に、

皆様の御名前を説き上げ、阿彌陀

様、ご先祖様に報告、ご法要后

任転の法話、總代様のご挨拶、

客席に戻り会食、献盃の音頭は

鈴木彦造様にお願ひし賑やかな

始まり。

石川先生にお願ひして重みの

あるお声でお謡の一切を。

ご酒も入り皆様夫々隠し芸を

ご披露下され一段と賑やかに、

圧巻は、旅行にもキラッと和服

姿で、お参りの山口嘉子様の奇術

手品マジックの手際よさ、ウ

ンと見とれましまさう。

又新しくお檀家に知られ、参拝の
園部さんの奥様が締めくくられた
皆さんから拍手で若いお声を披露
露下される。

残念だったのは、いつも写真班
を自重して、パチパチとりまくる

大團圓様がご親戚の所業で、ご欠席に

なりれた為、この哀びが甬現出来

ず、皆様に差上げられない事です。

残念でした。

任転は少し体調不良で皆様を見

送れず休ませて頂きました。

いつも乍ら、最後の片付けは官

第ご兄弟夫妻が被張つまくれまし

た、有難い事です。

前号に詳述した青木孝さんの奥

様や、長男孝保さんは勿論の事。

前号に詳述した青木孝さんの奥
様や、長男孝保さんは勿論の事。



うららかな春は

きびしい冬のあとに

きれいな

花は

つめた

大地で耐え

いる

私も

いずく言わぬ

なむあみだぶつと心に

仏のやさしい花を



幸せな私

(前号の続き)

私はヨタヨタと幼頃の癖に
お檀家に様子をハラハラさせ下らぬ
お檀家に様子を迷惑を
お檀家に様子を迷惑を
お檀家に様子を迷惑を

朝早く赤い花緒のかわい
カッ

コをはいてトコトコと玄
閑から入

つて来マカツコをぬき
すマ茶の間

へ。ニ階への階段を一段
上った

つ泣くな小鳩よとかわい
と声で

童謡を唱つマ朝の
ご挨拶

かわいポオヤが今では
立派な

お命の童歌に行つた
大樹さん

強さんが昔礼儀に行つた
時大樹さん

気軽に紹介して夢つて
る方で行ッ

り、東京に戻り当寺に行
事がある早

速かけつけ、お手位は
最近には

専らカメラマン級で、
必要には

いや旅行にも参られ皆様のニコ
 やお婆をパチパチ後日引伸
 ばしてセルロイドのカバーに
 して皆さんに差上げます。と。
 頂いたお檀家様も思わぬスナツ
 プに「アラツ！有難うございま
 す」とニコニコ。
 又、昨日、私が内をしめ極本に
 水をやつたり掃除してゐると内
 鉄棒の間から髪をみせ、
 「お兄ちゃん！無理しちゃダメ
 だよ！と大声で。ビツクリ。
 こちりも離れた処に居住する様
 になつた重役さん「有難う！
 木クも氣をつけ帰つてよ！の
 大声で、感謝の返事。
 いくつになつても兄弟合様、心
 を通わせている幸せ！
 私にはまだ、心を通わせてい
 る宮原兄弟夫婦さんがいます。
 是非次子で孫何させて下さい。
 本者に有難く胸せまります。



伝言板

90余大のおぼろも
 般は、広告用紙を細い紐の掃に、
 それを手間、ひまかけでカゴを、
 大小作られ、よろしかつたら皆
 掃にもと頭が下りました。その
 作がりに頭が下りました。その
 三つ作振りをして、鑑の上よろし
 かつたらお持ち帰り下さい。
 〇年末年始
 皆様よりお心
 のニコつた頂
 きものに有難う
 ございます。
 〇水島様の奥様
 より、は先年カ
 ワイイ様様の
 ふきんを、決ぬ
 作つて、極々大
 事に使つてお

○等友が遅れがちで申訳ありません。なんとか遅れぬ様にと、思い乍ら気力・体力・伴の痛みを負けて、夜半もそれと悪い寝着かれません。ご寛なさい。孫二人が優しく心配して色々援助してくれませんが、会社勤めもありません。

○上の孫は勤務先で全社一番の学業成績と旅費滞り費その上お小の休暇と旅費滞り費その上お小使いとして十万円も円満退職、以て専ら小生の強力な助手となり、諸含合には積極的に出かけ帰る報告してくれませす。

○準備、若者も積極的に法要の下準備、雑音のすべま、買物、若坊子の合に出席して新しい煙草の収受、死方子も頭を下る事ばかりと教えられ、大助も大助。



○これからはお檀家様始め、圓の皆様に頭を下げてご恩返しの日を心掛けます。

○何もおみだぶつ。

○今回沢草弘放会で、全沢草のお寺様一覽、お食事処等のキレイな色付マップを作りました。

○玄関先ドツサリ置きました。

○どうぞお持ち帰りご参考に。

○気候変化に気をつけてお過ごし下さい。